



発行
 枕崎市
 教育委員会
 生涯学習課

「地域学校協働活動だより」は枕崎市のホームページにも掲載されています。スマホで読み取ったりパソコンで検索して、カラー写真付きの記事をご覧ください。

地域学校協働活動とは？

「地域学校協働活動」とは、地域と学校が連携・協働して子供たちの学びと成長を支える活動のことで、地域の人たちが子供たちと関わることで、地域の活性化にもつながる活動です。

昔は、子供たちは、地域での遊びや子ども会活動、家庭や地域での様々な行事や手伝いなどの体験を通して、先輩・後輩といった異年齢間の人間関係の在り方や人への思いやりなどを学び、成長していったと思います。

現在の子供たちは、社会環境の変化によって、地域での異年齢間の遊びや体験活動を行う機会が少なくなっているため、社会総掛かりで子供たちの学びと成長を支える「地域学校協働活動」に国全体で取り組んでいます。

学校で地域の人たちがボランティアとなって行う学校応援団活動はもちろん、学校で行われている地域人材による外部講師の活用、職場体験学習などの校外学習なども「地域学校協働活動」です。また、地区公民館で取り組んでいる青少年講座、市内それぞれの地域で子供たちが関わる地域行事、子ども会活動や地域の人たちによる子供たちの見守り活動なども「地域学校協働活動」になります。

「地域学校協働活動」を進めることで、子供たちは地域の人たちに見守られ、支えられながら、豊かな学びや体験活動を行い健やかに成長していきます。これは、地域に愛着を持ち、地域に貢献したいと考える将来を担う人材の育成につながるものです。さらに、子供たちが、地域の行事や活動に積極的に参加し、地域の人たちが子供の学びと成長を支える活動に参加することで、地域全体の活性化が図られ、地域創生につながっていくことが期待されています。



～入学式で新入生 21 名が「希望の鐘打ち」～ 桜山中学校

桜山中学校では、4月9日に行われた入学式のあと、新入生21名が学校の隣の城山で「希望の鐘打ち」を行いました。「希望の鐘打ち」は、入学式で1年生、卒業式で3年生が行う桜山中学校の伝統行事です。



城山の鐘の由来を説明する山崎さん

城山の釣り鐘は、明治2年の廃仏毀釈の時に廃寺となった坊津の保護者と一緒に希望を込めて鐘を打つ一乗院から移転されたものが初代ですが、西南戦争で薩軍の兵器の材料にされ、明治12年に作り直されたものが現在の2代目です。昭和初期まで地域に時間を知らせる鐘として利用され、今でも「とつがね（時鐘）」として親しまれています。

この日は、地元の「とつがね会」の山崎正弘さんが城山の鐘の由来を説明し、新入生が中学校生活での挑戦と成長の希望を込めて、家族と一緒に「希望の鐘打ち」を行いました。



保護者と一緒に希望を込めて鐘を打つ

～にんじんを収穫して農業体験学習～ 別府中学校

3月4日、別府中学校1年生25名が、恒例になっているにんじんを収穫する農業体験学習を行いました。

今年度も別府地区で農業を営む俵積田大輔さんに、にんじんの収穫を丁寧に教えていただきました。子供たちは、収穫したにんじんを畑に並べて選別を行い、葉っぱをはさみで切ってコンテナに詰める根の先端と葉をはさみで切り取ってコンテナに詰める作業を行いました。



にんじんの収穫方法を説明する俵積田さん



葉っぱをはさみで切ってコンテナに詰める

にんじんには体にとって大切な栄養素のひとつ、ベータカロテンが多く含まれていて、別府地区で盛んに栽培され、甘くておいしい特産品となっています。

今回の体験を通して、農業への理解が深まるとともに、地域の皆さまへの感謝の気持ちも育ったようです。天気にも恵まれ、気持ちのよい体験日和となりました。

～学校田で手植えの田植えを体験～ 桜山小学校

4月14日、桜山小学校5年生21名が、校区内で農業を営む山崎己代治さん指導のもと、学校田での田植えを体験しました。最初に、山崎さんから米についてのお話を聞いた後、さっそく田んぼの中へ。

最初は、田んぼに入るのをためらう子たちもいましたが、入ってみると、田んぼの泥の感触を楽しんでいました。



乗用田植え機での田植えも体験

ひんやりした水に足をつけ、泥に足を取られながら、子供たちは4本くらいずつ稲をとり、1つ1つ丁寧に植えていきました。

その後は、乗用田植え機での田植えも体験してもらいました。機械を使うとあっという間に作業が進み、機械の便利さを実感した子供たちでした。

8月に稲刈り、12月には餅つきをする予定です。



手植えで稲の苗を丁寧に植えていく

～年に4回の全国交通安全運動など市内全域で子供たちを見守り～

春の全国交通安全運動が4月6日から15日まで市内全域で実施されました。交通安全運動は年に4回、春夏秋冬に行われますが、市内30箇所以上の交差点や横断歩道で、交通安全協会やボランティアの方々によって街頭指導、子供たちの見守り活動が行われています。



枕崎中学校前での見守り活動

4月15日の交通安全運動最終日には、まくらざき保育園前や枕崎中学校前など多くの箇所でボランティアの方々の街頭指導・見守り活動が見られました。

枕崎市の子供たちは、地域の方々に見守られながら元気なあいさつを交わして登下校をしています。



まくらざき保育園前での見守り活動